

# 職場の意見を反映させ 定期大会 方針を豊富化しよう!

9/28 第13回拡大支部代表者会議開催

**定期大会メインスローガン(案)**  
 清算事業団闘争勝利! 解雇撤回、  
 原職奪還! 「四・一」国鉄分割民  
 営化体制し粉碎に向けストライ  
 キで闘おう! 築きあげた八〇年  
 代の勝利の地平、鍛えあげた激  
 動の時代の運動の真価をかけて  
 自力・自闘・連帯の旗掲げ、変  
 革の九〇年代をきり拓く新たな  
 時代の労働運動を創造しよう!

九月二八日、拡大支部  
 代表者会議が開催され、  
 定期大会(十・八〜九)  
 の圧倒的成功と、事業団

闘争を中心とする今秋闘  
 争にむけて全力決起する  
 ことが全員一致で決定さ  
 れた。

職場討議・意見を大会に反映させよう!

冒頭、中野委員長があ  
 いさつを行った。その中  
 で今大会の特殊重要性に  
 ついて「事業団決戦をひ  
 かえ、ここで起たなけれ  
 ば何んのために今まで苦  
 勞し闘ってきたのか……」  
 「各支部は現場の奮闘・  
 声を大会に持ちより方針  
 を豊富化して欲しい」と  
 強調された。  
 布施書記長からは、大

会を突破口とする今秋闘  
 争について提起された。  
 書記長はまずこの間の「  
 団体署名」活動へのお礼  
 と署名が続々集められて  
 いる現状について報告し、  
 「自信と確信をさらに深  
 め、激動の九〇年代を見  
 据え、年内解散・総選挙  
 動向をにらみながら労働  
 戦線の激動化に真向うか  
 ら挑戦していく」と力強

く述べた。今秋闘争につ  
 いては「大会を第一歩に  
 事業団決戦に総力起ちあ  
 がる。ストライキを軸に  
 あらゆる力を集中し闘う。

確認された五つの中心課題

- ① 定期大会の成功
- ② 八九冬季物販の完
- 遂 ③ 一〇・二二三
- 里塚全国集会への結
- 集 ④ 「一一・三団
- 結祭」の成功 ⑤ 「
- 一・二三全国交流セ
- ンター」の成功

そのあと活発な討論が

行われた。特に多く出さ  
 れた意見は「当局は、運  
 転保安をアゴヒモ・カー  
 テン問題にすりかえよう  
 としている、許せな」  
 「東中野駅事故を何一つ  
 教訓化していない」とい  
 う弾劾であり、本部とし  
 て、ただちに「申し入  
 れ」を行い、大会でさら  
 に深めることを決定した。

▲ 第16回 定期大会  
 10月8日(日)  
 13時南会  
 「のさか 望洋荘」  
 八日市場下車  
 バス20分  
 ▲ 結成10周年 記念団結祭典  
 11月3日  
 旧千葉鉄道学  
 園グラウンド